

リスク投資分析 地銀にリポート

JLL系

不動産サービス大手のJLL（東京・千代田）は5日から、低格付け債や未公開株といったリスク資産に投資する金融商品の分析サービスを始める。商品の購入を検討する国内機関投資家に代わり、特徴や注意点などをリポートにまとめて有料で提供する。高い利回りを狙えるリスク資産への投資を増やしたい地方銀

行などの利用を見込む。

新サービスはJLL子

会社で不動産鑑定大手の

JLL森井鑑定（東京・

中央）が手掛ける。11月

に投資助言・代理業者と

して金融庁に登録した。

ほかに不動産、インフラ、

債務担保証券（CDO）

や資産担保証券（ABS）

といった証券化商品など

を分析対象とする。

投資家から注文を受け、

資料の分析や運用担

当者への取材を経て、リ

ポートをまとめる。1本

あたり数十万〜300万

円程度を見込む。投資家

目線に立つため、報酬は

商品の運用者や販売者か

らは受け取らない。不動

産は実物の建物から国内

外の不動産ファンドまで

幅広く対応する。初年度

20〜30件の受注を目標

す。

リスク資産は上場株式

などの伝統的な金融資産

への投資に代わる「オル

タナティブ投資」と位置

づけられ、マイナス金利

下で資金配分を拡大する

投資家が増えている。